

総務教育常任委員会資料

調査事件4 所管関係施設・事業等の町内視察及び 執行方針の取り組み状況について

1	所管関係施設・事業等の町内視察	1
2	執行方針の取り組み状況	4
3	工事等一覧表	10

1 所管関係施設・事業等の町内視察

11月7日(木)

予定時間	地区	調査項目(事業)	担当課	資料
10:00		開会		
10:05		役場前出発		
10:10	日向	日向生活館改修事業	総務課	2
10:35	美山	吉岡砕石原石採取現場	総務課	3
11:00		役場到着		

予定時間	調査項目(事業)	場所
11:15	検討会	議場

2 執行方針の取り組み状況

11月7日(木)

施策の内容	確認内容等	担当課
次世代を担うリーダー等の養成	(1) 福島町人財育成基金について	企画課
	(2) 産学官との連携強化について	企画課
高齢者等の安心安全な生活環境の充実	(1) 防災計画の見直しについて	総務課
	(2) デマンドバス利用料金見直しの検討状況について	企画課
学び合い、たくましい人を育てる	(1) 北海道幼児教育振興基本方針の取り組みについて	教育委員会 学校教育係
	(2) 学校における働き方改革アクションプランの取り組みについて	教育委員会 学校教育係
	(3) 高等学校存続対策について	教育委員会 学校教育係
	(4) 文化財の保存・展示について	教育委員会 生涯学習係
	(5) 歴史図書発刊に向けた取り組みについて	教育委員会 生涯学習係
	(6) 福島町教育大綱の改訂について	教育委員会 学校教育係

1. 次世代を担うリーダー等の養成

(1) 福島町人財育成基金について（企画課）

当該基金は、過疎対策事業債（ソフト分）を活用しながら運用しており、平成30年度の運用状況は、当初43,048千円の基金残高に20,054千円を積立し、福島商業高等学校存続対策や教育関係団体・大会助成等に13,000千円を支消したことから年度末基金残高は、50,102千円となっております。

福島町人材育成支援事業補助金交付要綱による令和元年9月末現在の補助実績については、下記のとおりとなっております。

引き続き、人材育成基金により福島商業高等学校存続対策や教育関係団体・大会参加等を支援するとともに、人材育成支援事業補助金制度の周知に努め人材育成に取り組んでまいります。

○町長部局

区 分	件 数	補助金額 (円)
資格取得事業	12	392,600
研修会及び講習会等参加事業	—	—
研修会等開催事業	1	45,000
計	13	437,600

○教育委員会部局

区 分	件 数	補助金額 (円)	
資格取得事業	珠算検定	5	5,400
	英語検定	3	9,100
	漢字検定	16	28,000
研修会及び講習会等参加事業	4	231,200	
研修会等開催事業	—	—	
計	28	273,700	

(2) 産学官との連携強化について（企画課）

産学官連携事業については、公立はこだて未来大学と昨年度に引き続き「福島町における陸上養殖支援システムの検討」を委託し、個体測定作業の効率化と軽減に向けた研究を進めております。

また、新たな取り組みとして、令和2年度からスタートする小学校プログラミング教育の全面実施に向けて、D-SCHOOL北海道函館校による「小学生向け短期集中プログラミング講座」（8月6日、7日、8日）を開催し、次年度からの円滑なプログラミング教育の実施に向けた取り組みを進めております。なお、プログラミング講座の講師は、公立は

こだて未来大学の学生等に担当していただき、第2回目として冬休み（12月26日、27日、28日）の開催を予定しているところであります。

産学官連携事業については、各大学の専門的分野や連携協定した項目を中心に、次年度以降においても各大学と協議のうえ進めてまいりたいと考えております。

2. 高齢者等の安心安全な生活環境の充実

（1）防災計画の見直しについて（総務課）

近年、東日本大震災以来、毎年のように大規模な災害が発生し、直近では、台風19号による広域的な災害が発生しております。

町では、このような状況を踏まえて、現在、防災計画の全面的な見直し作業を進めております。見直しにあたっては、福島川洪水浸水区域及び津波浸水水位等の公表データを基に作業を行っております。

ただ、福島川洪水浸水区域は、平成30年1月に北海道より公表されておりますが、津波浸水水位については、現時点で太平洋沿岸に係る津波浸水データが公表されていないことから、平成29年2月に公表された日本海沿岸における津波浸水想定データをベースとして作業を進めております。

また、同見直しと併せた防災マップの改訂については、年度内に全世帯へ配布を予定しております。

なお、防災訓練等については、頻発している大規模災害を踏まえ、全町的な防災訓練を実施しているところですが、今後は、福島川などの河川氾濫を想定した地域特定の防災訓練を実施するよう検討しております。

（2）デマンドバス利用料金見直しの検討状況について（企画課）

福島町デマンドバスの利用料金の見直しについては、令和元年6月18日に開催した、第1回福島町地域公共交通確保維持改善協議会において、見直し案を提案し、補助事業の計画認定申請までに決定したい旨説明したところであります。

運賃形態の見直しについては、①「ゾーン制導入の可否」、現在導入している割引制度に加え、②「新たな割引制度（往復割引等）導入の可否」について検討をいただいております。

委員の意見としては、

① 「必ずしも改定が必要な状況か。」

② 「持続可能な公共交通としていくためには、値上げという考えもあっても良いのではないか。」

③ 「値下げにより利用者増が見込めるので、赤字分は呑み込めるのではないか。」

等の意見が出されたところであります。

9月中旬には、デマンドバス利用者等に対し利用料金見直しに関するアンケート調査を

実施したところであり、当該調査を取りまとめし調査結果を報告しながら、協議会において引き続き検討していただくこととしております。

3. 学び合い、たくましい人を育てる

(1) 北海道幼児教育振興基本方針の取り組みについて（教育委員会学校教育係）

北海道及び北海道教育委員会では、平成30年11月に全ての幼児教育施設が質の高い教育を提供するため職員の研修機会の確保や連携体制など、幼児教育の充実を図るための基本的方向を示す「北海道幼児教育振興基本方針」を策定したところです。

当教育委員会としましては、この方針に基づく様々な取り組みを推進するため、本基本方針はもとより、今年6月に開設されました北海道幼児教育推進センターの支援内容、研修会の開催などを、保育所、幼稚園、小学校に10月10日に情報提供しておりますが、現時点では関係者との協議までは至っておりません。施策にある「質の高い幼児教育の提供」では、体験交流事業を継続的に実施しているなど、一部、取り組んでいる内容もありますが、今後、更に関係機関と情報共有や協議を行いながら幼児教育の充実に取り組んでまいります。

また、11月に渡島教育局では、保育者の資質・能力の向上や幼児教育施設と小学校等との一層の連携強化を図るため、渡島振興局管内幼児教育振興ネットワーク会議を設置する予定となっているところです。

(2) 学校における働き方改革アクションプランの取り組みについて

(教育委員会学校教育係)

教育委員会では、平成30年3月に「学校における働き方改革アクションプラン」を策定し、学校現場における教職員の時間外勤務等の縮減に取り組んでいるところです。しかし、平成31年1月25日付けで文部科学省から「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」の通知を受けて、4月以降の校長会及び教頭会を通じて見直しに向けた協議を重ね、10月の会議において、国の通知どおり、「1週間当たりの勤務時間が60時間を超える教員を全学校でゼロ」から「時間外勤務を1ヶ月45時間以内、1年間360時間以内」の内容で見直し案を決定し、11月下旬に開催する教育委員会議に提案する予定となっております。

また、特徴的な取り組みとしましては、平成29年度より導入している校務支援システムにおいて、すでに利用している児童生徒の登下校情報の管理に加え、今年4月から教職員の出退勤管理機能が追加となり、事務の効率化と情報共有が図られております。今後は、令和2年度に向けて学校予算経理の電算化の検討も進めてまいります。

(3) 高等学校存続対策について (教育委員会学校教育係)

福島商業高校の存続対策については、これまでも積極的に推進してきておりますが、今年度の新入学生徒は12名となっております。

来年度に向けた取り組みとしましては、新たにPRポスターを制作するとともに、学校案内パンフレットを作成し、9月3日までの間に渡島、檜山管内及び札幌市内の中学校に送付したところであります。また、新たに計画している海外見学旅行については、11月上旬に福島商業高等学校長がオーストラリアへの事前視察を予定しております。

高校存続対策に向けた組織に関しましては、7月1日に道立福島商業高等学校存続検討委員会を開催し、これまでの高校存続対策を中心とした施策から「福島商業高校の今後の在り方」について協議を進めていくことを確認したところです。7月8日には「福島町高校の在り方に関する協議会設立準備委員会」を設置し、現在は、11月上旬に具体的な検討を進めていくための新たな協議会の設立に向けて準備を進めているところであります。

(4) 文化財の保存・展示について (教育委員会生涯学習係)

昨年11月に館崎遺跡から出土した縄文時代後期の土器に穀物の害虫として知られる「コクゾウムシ」(体長約4mm)が約5百匹練り込まれていたと熊本大学の小畑教授の調査で分かった旨が発表されました。このコクゾウムシ入りの珍しい土器の一部を、5月からチロップ館で展示しており、約4千年前の神秘を感じることができます。今後は、来年2月下旬の「ひな・武者祭り」の開催に併せて、コクゾウムシに関する説明パネルやPR看板の設置を計画し、縄文遺跡に対する興味を高めてまいります。

また、江戸時代の測量家である伊能忠敬が作成した日本地図の複製を展示する「伊能大図フロア展」が9月27日～28日に福島町総合体育館で開催されました。これは北海道農業土木測量設計協会が主催し、福島町・福島町教育委員会が共催して開催したのですが、町内の小中高生や高齢者学級など、町内外から441名の参加者が、町史研究会のガイドも受けながら、測量を開始した吉岡や伊能氏の偉業の大きさなどについて、認識を深めることができました。

次に、平成30年3月に国の重要無形民俗文化財の指定を受けた「松前神楽」につきましては、道内4つの保存会で構成する松前神楽北海道連合保存会が中心となって保存・伝承等に努めているところです。6月4日に当会の総会が福島町で開催され、福島町の保存会が新たに会長・事務局を担うことになりました。国指定を記念し、北海道の歴史ある代表的な民俗芸能を広く道民にPRすることを目的として、令和2年10月に札幌市内で公演を開催することで準備を進めております。

(5) 歴史図書発刊に向けた取り組みについて (教育委員会生涯学習係)

平成30年6月に編集委員会を設置し、8分野(①松前神楽、②伊能忠敬、③ニシン漁から昆布養殖へ、④蝦夷キリシタン、⑤千代の山、⑥千代の富士、⑦中島正一、⑧殿様街道)を構成とした内容で業務を進めております。

今年度は、5月27日と9月30日の2回、編集委員会を開催する中で、具体的な執筆

作業をはじめ、挿絵作成、原稿の添削等に係る編集作業のスケジュール調整や、内容の検討を進めながら、令和2年11月の発刊に向けて、作業を取り進めております。

なお、発刊後の配布先としましては、町内全世帯をはじめ、小学4年生から高校生までの児童生徒、ふるさと会、編集関係者、予備等も含めて計画しており、発行部数は3,300部を予定しております。

(6) 福島町教育大綱の改訂について（教育委員会学校教育係）

福島町教育大綱については、平成27年12月に国で策定しました「第2期教育振興基本計画」における基本的な方針を参酌しながら、町長と教育委員会が協議・調整の上、総合教育会議において平成28年度から概ね4年間の計画として策定しております。

計画期間が満了になることから、国の「第3期教育振興基本計画」の方向性に基づき、4月の校長会及び教頭会で現状の課題等を議論しながら現大綱に対する各学校の意見等を頂いたところです。6月10日には総務課との協議を経て、7月の校長会等で内容を再確認し、7月17日付けで素案に同意する旨の報告を町長に提出したところであります。

今後は、この素案を参考に町長において改訂版の案を決定し、12月の総合教育会議で審議・決定となる予定であります。

3 工事等一覧表

総務課

単位：千円

番号	事業及び工事名	事業の内容等	事業費	請負業者名	工期 着工/完成	備考
1	日向生活館改修工事	屋根葺替 A=309 m ² 外壁・基礎改修外	17,999	柏崎工務店	着手 R1. 6.27 完了 R1. 11.29	

教育委員会

単位：千円

番号	事業及び工事名	事業の内容等	事業費	請負業者名	工期 着工/完成	備考
1	学校教育係 教職員住宅（平成3 年度建築棟）設備改 修工事	水廻り等設備の 改修、浄化槽 の設置	23,436	(株)金澤建設	着手 R1. 4.26 完了 R1. 9.20	